

5

九州地方

学習1 九州地方の自然環境と人々のかわり

- 九州地方は、日本の南西部に位置し、最も大きい島の九州ほか、**南西諸島**などの島々が南北に長く連なっています。
- 九州地方には、阿蘇山や雲仙岳、霧島山、桜島など、多くの**火山**があります。阿蘇山には世界最大級の**カルデラ**があります。
- 九州中部にはけわしい九州山地が、北部には低くならかな**筑紫山地**があります。筑後川が筑紫平野を流れ、有明海に注ぎます。有明海には、日本最大の干潟があります。
- 南西諸島には多くの島があり、**さんご礁**でできた島もあります。
- 九州地方の人口は、**地方中枢都市**である福岡市など北部に多く、離島や九州山地では過疎化が進んでいます。
- 九州地方は、日本海流(黒潮)と対馬海流という2つの暖流が近海を流れているため、冬でも比較的温暖です。**梅雨**の時期から**台風**の通過する秋にかけて降水量が多くなります。
- 南西諸島は亜熱帯性の気候で、マングローブなどの動植物の宝庫です。鹿児島県の屋久島は、**世界自然遺産**に登録されています。

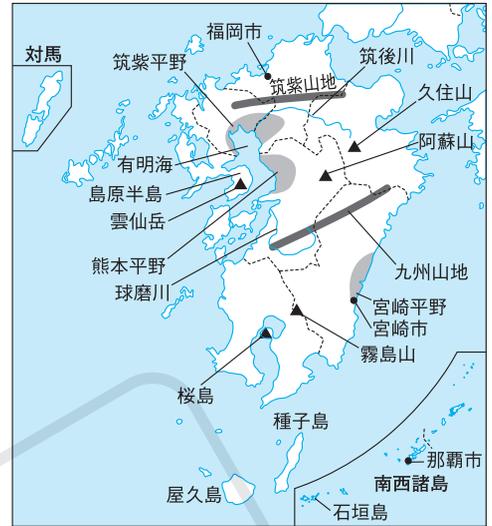
学習2 自然環境に影響を受ける人々の生活

- 九州南部に広がる**シラス台地**は、火山の噴出物が積もってできた台地で、水を通しやすく、くずれやすい性質をもっています。
- 火山は、災害を引き起こす一方、美しい景観や温泉などの恵みをもたらします。大分県の別府温泉は、全国有数の温泉観光地です。火山活動による**地熱**を利用した**地熱発電**も行われています。
- 九州は雨が多いため風水害が起こりやすい一方、雨が少ないと水不足になります。日照時間が長く、太陽光発電が盛んです。

学習3 自然環境を生かした農業

- 九州北部では、平野を中心に稲作が盛んで、筑紫平野は九州地方を代表する稲作地帯です。冬に小麦や大麦を栽培する**二毛作**や、ビニールハウスでのいちごやトマトの栽培も行われています。
- 九州南部では、豚やにわとり、肉牛の**畜産**が盛んです。個人経営の農家だけでなく、企業による大規模な経営も行われています。
- 宮崎平野では、冬でも温暖な気候を生かした**園芸農業**が盛んで、ビニールハウスできゅうりやピーマンを**促成栽培**しています。
- シラス台地は水もちが悪く、稲作には適しません。かつては水が少なくやせた土地でも育つさつまいもが栽培されていました。第

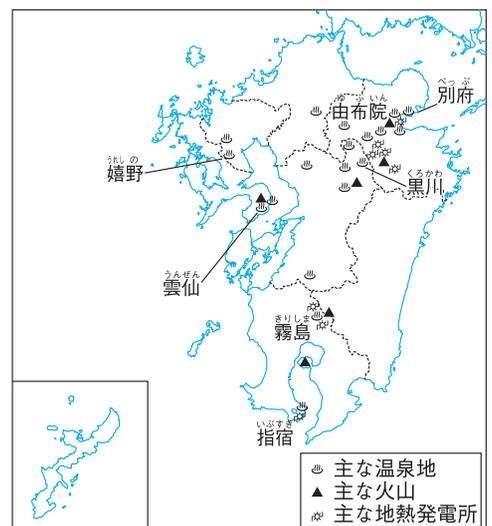
▼九州地方の自然



▼九州地方の主な都市の雨温図



▼九州地方の主な温泉地・地熱発電



二次世界大戦後はかんがい施設が整備され、野菜や茶も栽培されるようになり、「かごしま茶」は地域ブランドになっています。

- 大分県では、農村の過疎化対策として、地域の自然環境を生かして特産品を作る「一村一品運動」を行っており、この運動からはしいたけやかぼすなどの地域ブランドが生まれています。
- 九州地方では、東シナ海に広がる大陸棚や、長崎県にみられるリアス海岸など、豊かな自然を生かした漁業が盛んです。

note 九州地方の漁業

- ・長崎県…沿岸漁業がさかんで漁獲量は全国有数。
- ・有明海…干潟が広がり、のりの養殖がさかん。
- ・大分県…大分市佐賀関地区の「関あじ」・「関さば」が有名。

学習4 自然環境を生かした南西諸島の観光業

- 南西諸島では、温暖な気候と美しい自然を生かした観光業が盛んです。沖縄にある琉球王国の史跡や文化も観光資源になります。世界文化遺産に登録されている首里城跡などが知られています。
- 最近では、国内だけでなく、アジアなど外国からの観光客も訪れます。しかし、リゾート施設の建設などで自然が破壊されたり、海水温の上昇でさんごが死滅する白化現象が起きたりしています。
- 観光と環境保全を両立させるため、エコツーリズムでは、自然や文化の知識をもつガイドが同行するなどしています。
- 沖縄は、1972年までアメリカ軍の統治下に置かれ、今なお、沖縄島の約15%の土地がアメリカ軍の施設として使われています。

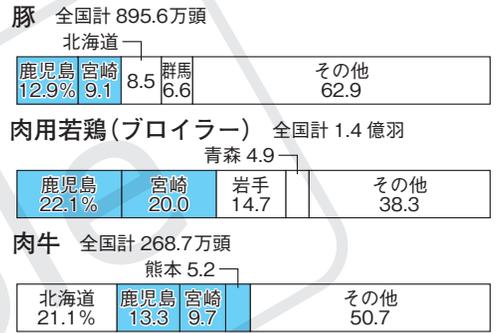
学習5 工業の変化と自然環境の保全

- 1901年、現在の北九州市に官営の八幡製鉄所がつけられ、地元で産出する石炭と中国から輸入した鉄鉱石を使って鉄鋼の生産を始めました。八幡製鉄所を中心として発展した北九州工業地帯では重化学工業が盛んになり、日本の近代産業の発展を支えました。
- 工業生産が拡大する一方で、1960年代には大気汚染や水質汚濁などの公害が深刻化しました。そのため企業などは公害対策に取り組むようになり、北九州市の環境はいちじるしく改善されました。
- 1960年代に、エネルギー革命が起こり、エネルギー源が石炭から石油に変わると、炭鉱は閉鎖され、北九州工業地帯はのびなやみました。近年は、高速道路沿いにIC(集積回路)や自動車の工場が増え、機械工業が発達しています。
- 熊本県水俣市でも公害病の水俣病が発生しました。公害を克服した北九州市や水俣市は、エコタウン事業を進め、環境モデル都市に指定されて、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

▼シラスの分布

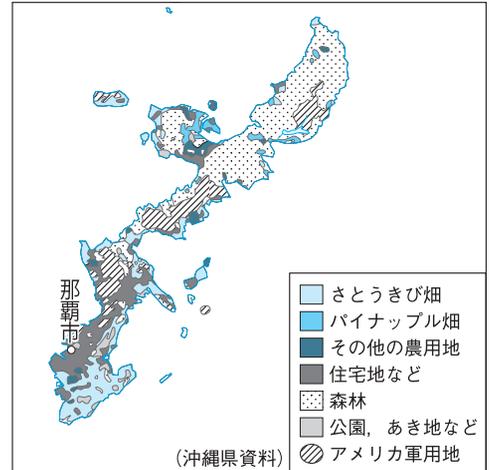


▼主な家畜の飼育数の都道府県別割合

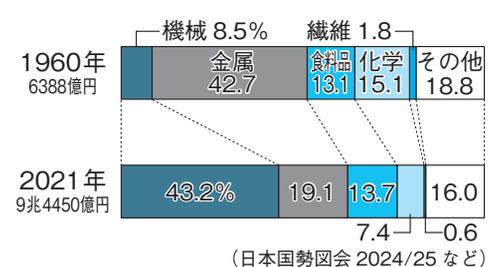


(2023年) (日本国勢図会 2024/25)

▼沖縄島の土地利用



▼北九州工業地帯の工業出荷額の変化



確認問題

●一問一答● 次の問いに答えなさい。

学習1

- (1) 地図中の①の山地を何というか。
- (2) 地図中の②の平野を何というか。九州を代表する米の産地。
- (3) 地図中の③の河川を何というか。
- (4) 地図中の④の山地を何というか。
- (5) 地図中の⑤の平野を何というか。
- (6) 地図中の⑥の火山を何というか。



- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) _____
- (6) _____
- (7) _____
- (8) _____

学習2

- (7) 阿蘇山は、噴火でできたくぼ地が世界最大級である。このくぼ地を何というか。
- (8) 2つの暖流の影響により、九州地方の気候は冬でも比較的温暖である。2つの暖流のうち、1つは対馬海流である。もう1つの暖流を何というか。

- (9) _____
- (10) _____

学習3

- (9) 九州南部に広がる、火山の噴出物が積もってできた台地を何というか。水を通しやすいので、大雨の際には土砂くずれが起こりやすい。
- (10) 九州各地で行われている、火山活動にともなうエネルギーを利用した発電を何というか。火山活動のエネルギーは温泉にも生かされている。
- (11) 日照時間が長い九州地方で盛んな、再生可能エネルギーによる発電を何というか。
- (12) (2)の平野で行われている、稲作が終わった冬に小麦・大麦を栽培する農業を何というか。いちごの栽培も盛んである。

- (11) _____
- (12) _____
- (13) _____

学習4

- (13) 畜産が盛んな九州南部で、特に多く飼育されている家畜は豚・にわとりと何か。大規模な企業的な畜産が大規模に行われている。
- (14) 宮崎平野で盛んに行われている、ビニールハウスを利用して野菜の出荷時期を早める栽培方法を何というか。
- (15) (9)の広がる鹿児島県でさつまいもなどととも盛んに栽培され、最近「かごしま茶」として地域ブランドになっている農作物は何か。
- (16) かつて沖縄で成立し、首里城などを築いた王国を何というか。15世紀前半に成立し、中継貿易によって繁栄した。

- (14) _____
- (15) _____
- (16) _____

学習5

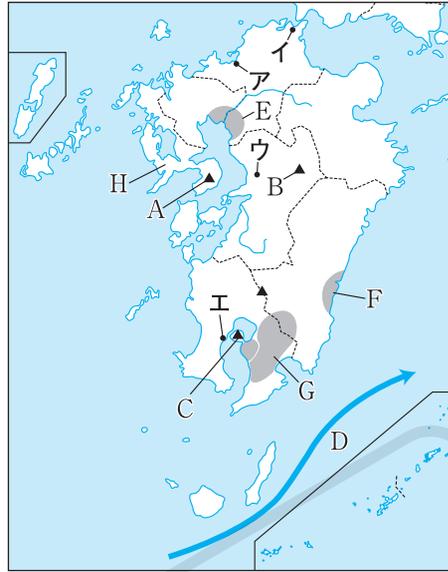
- (17) 自然環境を体験しながら学ぶ、観光と環境保全を両立させる取り組みを何というか。
- (18) 官営の八幡製鉄所を中心に発展した工業地帯を何というか。最近鉄鋼だけでなく、自動車など機械類の生産が中心になってきている。
- (19) 急速な工業の発展にともなって発生した、大気汚染や水質汚濁などの問題を何というか。
- (20) 北九州市は、()への役割を主導的に果たすため、エコタウン事業を進めている。()にあてはまる語句を書け。

- (17) _____
- (18) _____
- (19) _____
- (20) _____

基本問題

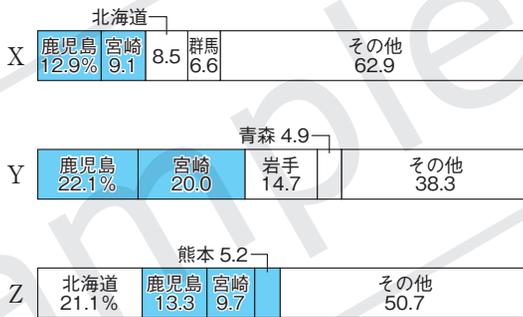
1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) A～Cの火山名を、次から選びなさい。
 ア 阿蘇山 イ 桜島
 ウ 雲仙岳 エ 霧島山
- (2) Dは日本海流である。
 □① この海流は寒流か、暖流か。
 □② 日本海流を別名何というか。漢字2字で書きなさい。
- (3) 九州地方の地方中枢都市を、地図中のア～エから選びなさい。
- (4) E～Gの地域で盛んな農業を、次のア～エから選びなさい。
 ア さとうきびの栽培
 イ ビニールハウスを使った園芸農業
 ウ さつまいもや茶の栽培
 エ 稲作と小麦の二毛作



主な家畜の飼育数の都道府県別割合

- (5) 右のグラフ中のX～Zにあてはまる家畜を、次のア～エから選びなさい。
 ア 肉牛 イ 肉用若鶏
 ウ 乳牛 エ 豚



- (6) Hの県は日本有数の漁獲量をあげている。その理由を述べた次の文中の下線部①、②を何というか。

「この県の西に広がる東シナ海は、①水深のあさい海底が広がるよい漁場であり、
②出入りの複雑な海岸の湾は波が静かで港に適した地形だから。」

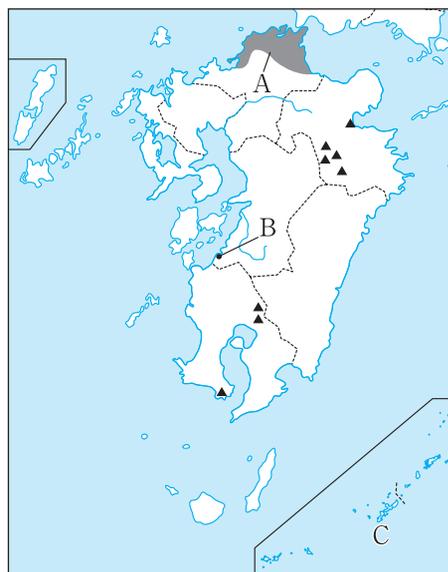
(日本国勢協会 2024/25)

1

(1)	A
	B
	C
(2)	①
	②
(3)	
(4)	E
	F
	G
	X
(5)	Y
	Z
(6)	①
	②

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) Aの工業地帯を何というか。
- (2) Aの周辺でかつて盛んに採掘されていた鉱産資源を、次のア～エから選びなさい。
 ア 石油 イ 鉄鉱石
 ウ 石炭 エ 銀
- (3) Aで発生した大気汚染や水質汚濁などの被害をまとめて何というか。
- (4) ▲にある発電所を、次から選びなさい。
 ア 太陽光発電 イ 火力発電
 ウ 原子力発電 エ 地熱発電
- (5) Bで発生した公害病を何というか。
- (6) Cに19世紀まであった独立国を何というか。
- (7) Cで美しい自然や独自の文化を生かして盛んな、第3次産業は何か。
- (8) Cにはある国の軍事施設が多い。ある国とはどこか。



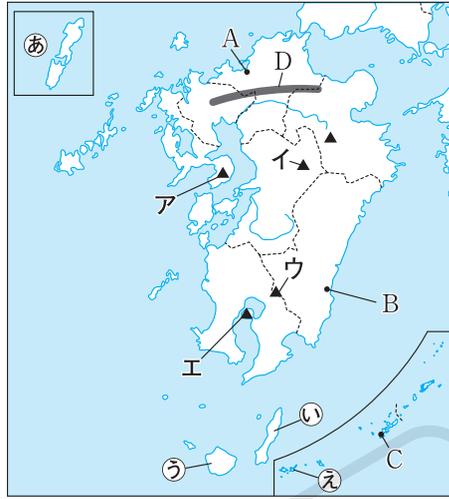
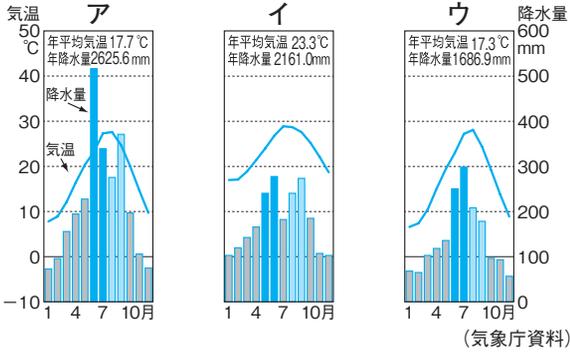
2

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)

練習問題

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) A～Cの都市の雨温図を、次のア～ウから選びなさい。



□(2) (1)のグラフで、①、②の月に雨が
多い原因を書きなさい。

□(3) **表現力** 九州の冬の平均気温が、比較的高い理由を簡単に書きなさい。

□(4) 世界最大級のカルデラがある火山を、地図中のア～エから選びなさい。

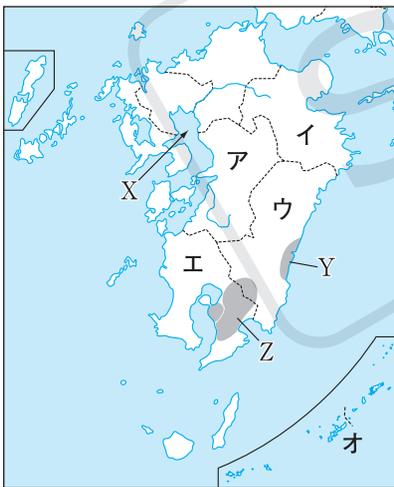
□(5) 世界自然遺産に登録されている屋久島を、地図中のあ～えから選びなさい。

□(6) Dの山地の周辺では人口が減り、社会生活の維持が困難になっている。この現象を何というか。

□(7) **表現力** 九州地方で太陽光発電が盛んな理由を、気候に関連づけて書きなさい。

	A
(1)	B
	C
	①
(2)	②
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	

2 次の地図とグラフを見て、あとの問いに答えなさい。



グラフ 主な家畜の飼育数の都道府県別割合

豚 全国計 895.6万頭					
北海道					
A	B	群馬	その他		
12.9%	9.1	8.5	6.6	62.9	
肉用若鶏(ブロイラー) 全国計 1.4億羽					
青森 4.9					
A	B	岩手	その他		
22.1%	20.0	14.7	38.3		
肉牛 全国計 268.7万頭					
熊本 5.2					
北海道	A	B	その他		
21.1%	13.3	9.7	50.7		

(日本国勢図会 2024/25)

□(1) グラフのA、Bにあてはまる県を、地図中のア～オから選びなさい。

□(2) Xの海で養殖が盛んな水産物を、次のア～エから選びなさい。

ア かき イ のり ウ うなぎ エ ほたて貝

□(3) Yの平野で促成栽培が盛んな野菜を、次のア～エから2つ選びなさい。

ア きゅうり イ キャベツ ウ レタス エ ピーマン

□(4) **表現力** Zの台地は水もちが悪く、稲作に適さない。その理由を簡単に書きなさい。

	A
(1)	B
(2)	
(3)	
(4)	

③ 沖縄県について、次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

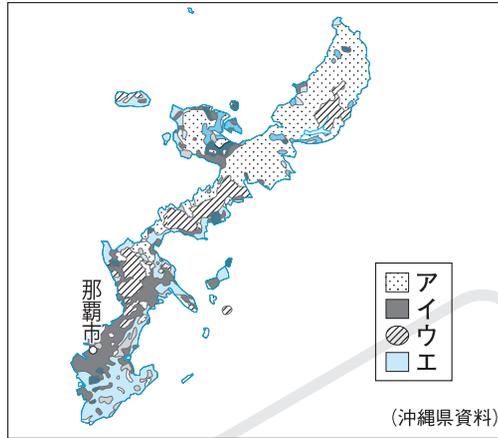
①一年中高温多雨な気候の②沖縄には、浅い海に(①)が広がり、海辺には(②)の林がみられる。③貴重な自然や琉球王国の史跡や文化、④独特の家の造りが観光資源になり、国内外から多くの観光客が訪れる。しかし、(③)施設の開発による自然破壊や、海水温の上昇によるさんごの(④)現象が問題になっている。これからは、⑤環境保全と観光業を両立させる旅行のあり方が求められている。

□(1) (①)～(④)にあてはまる語句を、次のア～カから選びなさい。

- ア リゾート イ 干潟
- ウ 液状化 エ マングローブ
- オ さんご礁 カ 白化

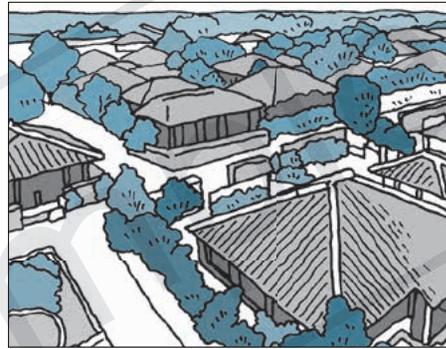
□(2) 下線部②を何というか。

□(3) 下線部③について、地図中のア～エのうち、アメリカ軍用地を示すものを選びなさい。



□(4) 下線部④について、沖縄島の北部は、大島(奄美大島)、徳之島、西表島とともに未来に引きつぐ必要のある遺産としてユネスコに登録されている。この遺産を何というか。

□(5) **表現力** 下線部④について、右の資料は沖縄の伝統的な家の造りである。このような工夫が見られる理由を簡単に書きなさい。



□(6) 下線部⑤を何というか。

③

(1)	①	
	②	
	③	
	④	
(2)		の気候
(3)		
(4)		遺産
(5)		
(6)		

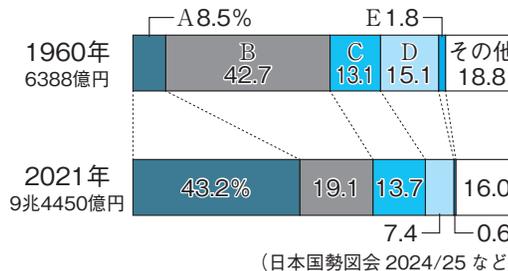
④ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

1901年、石炭の産地や鉄鉱石の輸入先である(①)に近い北九州市に②官営の製鉄所がつくられ、北九州工業地帯の中心となった。しかし、1960年代以降、③エネルギーの中心が石炭から石油に変わり、鉄鉱石の主な輸入先が(②)などに変わったため、鉄鋼の生産は伸びなやんだ。近年は高速道路の整備により、九州各地に④集積回路や自動車の工場が進出している。また、北九州市は深刻な公害を克服した歴史をもち、⑤リサイクル工場などを集めた地域をつくり、国から環境(③)都市に指定されて、持続可能な社会づくりに取り組んでいる。

□(1) (①)～(③)にあてはまる語句を次のア～オから選びなさい。

- ア リゾート イ モデル
- ウ アメリカ エ 中国
- オ オーストラリア

北九州工業地帯の工業出荷額の変化



□(2) 下線部②、③を何というか。

□(3) 下線部④をアルファベット2字で何というか。

□(4) 下線部⑤をカタカナで何というか。

□(5) 右のグラフ中のA・Bにあてはまる工業の種類を、次のア～オから選びなさい。

- ア 金属 イ 食料品 ウ 化学 エ 繊維 オ 機械

④

(1)	①	
	②	
	③	
(2)	a	
	b	
(3)		
(4)		
(5)	A	
	B	